

事例名	ナレッジ×(バイ) DIY(ディー アイ ワイ)
チーム名 【所属名】	協働コーディネーター@府庁NPOパートナーシップセンター with 府民力推進課 【府民生活部 府民力推進課 府庁NPOパートナーシップセンター】
メンバー氏名	鈴木課長、神田担当課長、松浦副課長、吉永、松井、日高、西尾、白水、井手上
アピール ポイント	<p>《所属長: 府民力推進課 課長 鈴木康久 》 府庁が、社会を良くしたいとの想いを実現するDIY(Do It Yourself)のスタートの場になる。5人の協働コーディネーターの個性が発揮された講座群。初めて府庁に来られた方、協働相手を見つけた方、事業を始めた方など、様々な動きを誘引する企画です。</p> <p>《アセッサー: 府民生活部 府民総務課 副課長 井関 好之 》 従来の発想を超えた自由で魅力的な取り組み。人のつながりと想いを重要視し、じわじわと成果を生み出していく最高にソフトな企画で、団体等との連携に加えて、府職員の意識改革も大いに期待できる。</p>
取組の目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域力再生活動団体が、このナレッジ×DIYから学んだ知恵やスキルなどを団体内で共有し、自らそれを実践して活動がより充実発展すること 団体どうしや企業、行政などとさらに協働連携が進み、京都府全体の地域活動の底力がアップすること
取組の ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 既に活動をされている地域力再生活動団体や府庁職員を中心に、これから活動をはじめようとしている個人、協働や連携を考えている民間企業や行政組織
取組内容 プロセス	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> NPOや企業人(CSR活動)、アーティストを講師に迎えた協働事例から学ぶ出会いと関係づくり、対話型鑑賞の研究者を講師に迎え感覚的な感情を表現し言語化するワークショップ、編集者やデザイナーを迎えたプレスリリースやチラシデザインを学ぶワークショップなどを、20回以上開催。約340人が参加。 毎月の定番プログラムとして、参加者自身の活動への想いかたちにして表現し共感や賛同を得る「マイプロジェクト企画」の開催も行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO組織などの協働連携を生みだす役割としての協働コーディネーター(協働CO)の能力や役割が庁内をはじめ地域活動団体に十分理解されていないという課題が指摘があり、これに対し、協働COの存在やその能力を紹介する目的で「協働COによるリレーワークショップ」を開催。地域団体への理解は進んだもの、庁内への広がりには十分とはいえなかった。 これを踏まえ、26年度は、協働COのもう一つの顔であるNPO活動から、協働や連携に必要なと思われる知識や技術を外部講師からワークショップ(参加体験型創造研修)を通じて学ぶ機会に発展させた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 地域力再生活動団体からは、「現場からの話が聞けた。活動を考え直すきっかけになった。協働後の発展に興味がある。他の協働のワークを試してみたい。」といった声があり、協働連携を生みだす機運が醸成されているほか、協働事例も生まれつつある。 昨年度までは、庁内からの問い合わせは数えられる程度であったが、今年度はナレッジ×DIYへの評価の声や各部局からの自主的な参加があり、意見や問い合わせも複数いただいている。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> 明確なテーマ設定と参加体験型プログラム(外部講師による事例紹介や、事例を学び、参加体験を通じての学びや気づきを参加者どうしで対話共有する)としたこと。 協働コーディネーターによる企画やゲスト交渉など、柔軟な発想と主体的な業務準備、臨機応変な現場進行を行ったこと。 各課へのチラシ配布、庁内のネット掲示板への投稿、WEBやSNSの活用など積極的かつ柔軟な広報を行ったこと。
今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> 地域力再生活動団体と行政職員とが、相互に構えずフラットな関係で議論できるプラットフォーム参加のきっかけとなり、互いの利点を共有し欠点を補えるような関係に発展させる。そのためにはつなぎ役となる官民の視点を持つ協働コーディネーターの存在が不可欠であり、協働連携の最前線の知識と技術をテーマに引き続き展開する。

◆ナレッジ×DIY 実施写真



イベント用ポロシャツを着用した協働コーディネーターによる進行



模造紙に対話を板書しながらワークショップをすすめます



ウラ紙ワークショップの「こまタワー」を作って高さを競います



ゲスト講師から知識や技術を学びます



時には身振り手振りで楽しくプログラムをすすめます



車座になって体験のシェアリング

◆実施実績 テーマと担当協働コーディネーター (回数: 21回 参加者数: 延べ 340名 3/5 現在)

【吉永主事】

- ・京都府中丹地域×広島市 自然災害復旧の現場とNPO活動

【松井協働コーディネーター】

- ・協働の種を生む! 狙いうちプレスリリース ~戦略編~
- ・レッツ! ファンドレイジング ~寄附文化をつくっていこう全3回~

【日高協働コーディネーター】

- ・感覚を言語化するワークショップ ~対話型鑑賞(ACOP)を協働に活かす
- ・ウラ紙×協働ワークショップ ~裏紙とペンを使ったコミュニケーション~

【西尾協働コーディネーター】

- ・マイ プロジェクト 交換会 通算 8回
- ・地域力再生マイプロ発表会 通算 2回

【白水協働コーディネーター】

- ・デザイナーの視点に学ぶ! 情報の整理・編集術
- ・NPOの次世代人材育成
- ・編集者が語る 目から鱗の!? プレスリリース ~基礎編~

【井手上協働コーディネーター】

- ・企業×NPO×アーティスト ~出会いと関係づくりワークショップ~
- ・企業×NPO ~覚悟ある協働のススメ~